

資料 7

※この資料は、平成28年度に
地方創生加速化交付金事業が
完了した際の報告資料と同じ
ものです。

地方創生加速化交付金事業実施概要

平成28年度実施事業(平成27年度繰越事業)

学校・地域・企業連携による みらいの人材育成推進事業 【実施結果】

学校・地域・企業連携によるみらいの人材育成推進事業

～「地元で働く」「地元を盛り上げる」～

<課題と目的>

・若者が地元に着・就職しない傾向のなか、「地域を理解し愛着を持つ」「地域産業を担う」人材育成が課題である。

小中高校生が地域や地元企業を「知る」「学ぶ」機会をつくり、地元の就職・定着につなげる。

- ・若者の知恵や活力が「企業」「地域」「経済」を活性化する。
- ・仕事づくり、若者雇用に貢献する。

<みたけ創生みらいの人材育成協議会>

メンバー: **商工会・工業団地・金融・小中学校・東濃高校・東濃実業高校・名古屋芸術大学・岐阜大学・NPO縁塾・町民**

- ・企業の人材ニーズ、地域の需要を包括的に連携・協力
- ・事業の取組状況、成果、点検、検証、公表(平成32年度まで)

<外部人材>

- ・ものづくり
- ・販路拡大セミナー
- ・ICTプログラミング講座
- ・ICT講師派遣

<連携事業>

- 地域課題解決のためのキャリア教育プログラム事業
- へご山茶づくり、パッケージデザイン、PR活動事業
- 子ども・移住者向け「田んぼの学校」、六次産業化促進、販路拡大、マーケティング支援、PR
- スイーツ作成、カフェ運営、PR
- 赤電ランドイベント実施、WEBサイト作成、PR

<備品整備>

- ICTの活用
- ・マーケティング実践
- ・記録・文書作成
- ・成果発表

<サイト構築>

- ・資金調達の「クラウドファンディング」「みんなのみたけファンディング」
- ・連携事業広報サイト構築
- ・サイト運営管理事務

1.みたけ創生みらいの人材 育成協議会設立・運営事業

事業の概要

これまで個別に取り組んできたものや企業の人材ニーズ、地域の需要などを取り入れ包括的に連携・協力する体制として「みたけ創生みらいの人材育成協議会」を立ち上げる。この協議会では、「地元で働く」「地元を盛り上げる」をテーマに、地域の関係者が連携して様々な取組みを行っていくために、関係者間の企画、調整を行う。

1. みたけ創生みらいの人材育成協議会設立・運営事業

【事業の実施状況】

○協議会の設立

- ・平成28年7月6日に第1回協議会を開催

○中間報告

- ・12月に書面にて各事業の進捗状況について報告

○実績報告

- ・平成29年3月23日に第2回協議会を開催
(平成28年度事業について報告)

【今後の方針・予定】

○協議会の開催

- ・年3回の開催を予定。
- ・地方創生推進交付金の活用を踏まえて平成29年度事業を協議。

2.農業体験活動事業

事業の概要

町の自然・文化・食などを広く発信し農業に対する関心を高めることで農業による交流人口の増加及び移住・定住者の増加へつなげていくため農業体験活動を行った。また、滞在型農業体験施設整備事業に伴う農業体験プランの策定を行った。

- ・ **農業体験業務委託**
- ・ **滞在型農業体験施設整備に向けた
基本構想策定業務委託**

2. 農業体験活動事業

【事業の実施状況】

○農業体験業務委託

- ・兵庫県、東京都、千葉県、愛知県から7名の農業体験者を受入れ。
- ・有機農法の体験を通じて、御嵩町の自然、文化、食を広く発信し、農業に関する関心を高めた。

○滞在型農業体験施設整備に向けた基本構想策定業務委託

- ・地域住民との意見交換会を開催。
(平成28年10月24日、11月21日、平成29年2月9日)
- ・地域住民との意見交換会により、農業の維持・再生に取り組むための施設整備の必要性が合意された。

【今後の方針・予定】

○滞在型農業体験施設の整備に合わせ、農業体験のプログラムを構築する。

- ・平成29年度 土地建物購入、測量設計
- ・平成30年度 施設整備

3.地域課題解決型キャリア教育事業

事業の概要

将来の担い手確保や若者の雇用対策、人材育成に取り組むため、高校や商工会、地元金融協会、工業団地連絡協議会が協働で行う地域課題解決に向けたキャリア教育プログラムを行った。

- ・ **キャリア教育プログラムの実施**
- ・ **御嵩町環境フェアでの発表**

3. 地域課題解決型キャリア教育事業

【事業の実施状況】

○東濃高校全1年生114人が受講

企業の課題解決策を探る「解決ミッション」、企業を訪問して働く楽しさなどを取材する「探検ミッション」に分かれて受講した。

《受講した生徒の感想》

- ・ 今後自分が働くための実感を得た。自分が今、やらなくてはいけないことをやろうという決心がついた。
- ・ 仕事はつらいものだと思っていたが、インタビューするうちに、仕事の楽しさもわかり、仕事に対する印象が変わった。

○代表6グループが「御嵩町環境フェア2017」において発表

【今後の方針・予定】

○来年度以降の実施

- ・ 引き続き、地元企業やNPO等の協力を得て開催。
- ・ 単年度ごとではなく継続していけるプログラムを検討。

4.まちまるごと鉄道博物館事業

事業の概要

平成27年度に地方創生事業として実施してきた地域課題を解決する人材育成事業にて地域みらい大学で取り組んだ名鉄広見線の魅力を高めるために提案されたプロジェクトの中から具体化していくための事業。

具体的には、プロジェクトを提案した高校や大学そして地域住民を中心にイベントの企画から実施運営を検討するための地域みらい大学を開催し、秋に2日間の予定でイベントを開催。この中で、地域みらい大学に参加した人がガイド役となり沿線地域を案内し、体験プログラムを提供した。

また、最新のICT技術とスマートフォンを活用して名鉄広見線を楽しむアプリの開発のほか体験型のプロジェクトやアプリの紹介、さらにはイベントの様子を伝えるためのWEBサイトを作成し、多くの方に御嵩町を訪れていただくための仕組みづくりを行った。

- ・ 全5回のワークショップの開催
- ・ 2日間のイベント開催

4. まちまるごと鉄道博物館事業

【事業の実施結果】

○イベント「御嵩あかでんランド」の開催

- ・平成28年9月24日(土)、25日(日)の2日間で375名が参加。

○企画切符の利用増

- ・名鉄広見線の企画切符の利用状況が、月平均27枚のところ、2日間で138枚の販売を達成。

○実行委員会立上げ

- ・来年度開催に向けた実行委員会が立ち上がった。

【今後の方針・予定】

○来年度の開催

- ・平成29年9月24日（日）に第2回の開催が決定。

○内容

- ・子ども向けの職業体験の要素を取り入れることを検討中。

5.特産品販売促進事業

事業の概要

特産品を作っている団体等の自立を手助けするため、販路開拓を行っていくためのマーケティング支援等。

・ 特産品販売促進業務委託

(商品ラベル、ロゴマーク、POP、パンフレット、のぼり、ホームページ、経営管理システムの作成)

5. 特産品販売促進事業

【事業の実施状況】

- 「みたけ味噌」「ごへだ味噌」PR
 - ・新たなラベルデザインやPOP、パンフレット、のぼり旗を制作。
- 新規販路の開拓
 - ・インターネット通販サイトを開設。
- 自立支援による経営管理の簡素化
 - ・経営管理システムの導入による在庫管理等の事務量が軽減。

【今後の方針・予定】

- PR活動・販路拡大
 - ・導入したグッズ等を活用して各売場での存在感をアピールし、イベントなどでの販売のほか、インターネットでの更なる販路拡大を目指す。
- 自立・自走
 - ・経営管理システムを活用して経営事務の自立を目指す。

6.みんなのみたけファンディング 活用サイト構築・運営事業

事業の概要

高校生や地域の想い・夢が実現するまちづくりを進めるため、資金調達をする仕組みであるクラウドファンディングサイト「みんなのみたけファンディング」サイトを立ち上げる事業。また、資金調達をしようとする団体等の相談にのるとともに各事業の広報をするなど、サイト運営管理を行った。

- ・ クラウドファンディングセミナー及び
指導者育成セミナーの開催

6. みんなのみたけファンディング活用サイト構築・運営事業

【事業の実施状況】

○クラウドファンディングセミナー（12/20・1/17）

- ・大手クラウドファンディング運営会社から講師を招いて、実例を交えて仕組みや活用方法を学んだ（延べ33名参加）。

○クラウドファンディング指導者育成セミナー（全5回）

- ・クラウドファンディングへの挑戦を目指して、アイデアワークショップや実際の公開までの手法を学んだ。

【今後の方針・予定】

○みんなのみたけファンディング活用サイト

- ・若者の夢やアイデアを実現するひとつのツールとして活用をサポートし、サイトを通じて情報発信等していく。

○クラウドファンディングプラットフォームの活用

- ・FAAVO美濃國などとの連携を検討していく。

7.外部人材招聘事業

事業の概要

地域の多様な関係者が連携したプログラムを行い、実体験の中で知識・技能、他者と協働する力を育成するため、小中学生、高校生を対象にしたICT・プログラミング講座や研修会、保育所や読み聞かせボランティアなどへ外部講師を派遣。

- ・ **ロボットジュニアセミナーの開催**
- ・ **プログラミングスクールの開催**
- ・ **読み聞かせ講演会の開催**

7. 外部人材招聘事業

【事業効果・実績】

○ロボットジュニアセミナー

- ・レゴ・マインドストームというロボット製作キットを使用して、ロボットの仕組みを学び、ロボットを動かすプログラムを作成。
- ・平成28年8月17日（水）小学生コース（18名参加）
- ・平成28年8月18日（木）中学生コース（10名参加）
- ・東濃高校ロボコン部もサポーターとして参加（9名）

○M I T A K Eプログラミングスクール

- ・東濃高等学校、東濃実業高等学校の生徒18名が受講。
- ・スマートフォンアプリをプログラミングできるスキルを習得し、3つのオリジナルアプリが完成。

○読み聞かせ講演会（63名参加）

- ・町内の保育所・幼稚園や読み聞かせボランティア団体の方を対象に、読み聞かせの大切さやその方法に関する講演会を開催。

【今後の方針・予定】

○ICT人材育成の推進

- ・東濃高等学校、東濃実業高等学校等と協働・連携し各事業を進めていく。

8. 舢五山茶ブラッシュアップ事業

事業の概要

高校、中学校と住民有志、名古屋芸術大学などが共同で行う舢五山茶用の茶畑整備の手伝いやお茶作りを行った。また、パッケージデザインの作成やPR広報等に必要な活動を共同で行った。

- ・ 舢五山茶園の一部整備
- ・ パッケージデザインワークショップ



8. 舢五山茶ブラッシュアップ事業

【事業効果・実績】

- 舢五山茶園活動を継続していくため、老朽化した茶木の一部整備と浸食が著しい笹の除草作業を実施
- 上之郷中学校デザインワークショップの開催
 - ・舢五山茶のオリジナルパッケージをデザインする
 - ・舢五山茶という地域資源から、色について考える
- 舢五山茶パッケージデザインのリニューアル
- 茶園活動をイメージできる外構デザイン

【今後の方針・予定】

- 新たなパッケージによる舢五茶の販売（H29.7より販売）
- イベントなどでの舢五山茶PR活動の継続

9. ICT活用事業

事業の概要

活動記録、データ分析などの調査・研究や成果発表などにタブレット端末を使いながら企業や学校間との情報交換や交流、展示会などで活用し、次世代技術の体得とプレゼンテーション能力を育成するためにタブレット端末を整備。

※端末71台を整備（学校用51台、一般用20台）

- ・ **小中学校の授業での活用**
- ・ **各種イベントでの活用**

9. ICT活用事業

タブレット端末を活用したイベント等

- 7月15日（金）みたけ創生有識者会議
- 8月17日（水）ロボットセミナー（1日目）
- 8月18日（木）ロボットセミナー（2日目）
- 9月24日（土）あかでんランド（1日目）
- 9月25日（日）あかでんランド（2日目）
- 9月27日（火）向陽中1人1台授業
- 2月9日（木）東京都庁 みたけPR（1日目）
- 2月10日（金）東京都庁 みたけPR（2日目）
- 2月12日（日）大阪市 移住相談ブース出展
- 2月13日（月）みたけ里山活性化ワーキングチーム会議
- 2月19日（日）名古屋KITTE みたけPR

9. ICT活用事業

【事業効果・実績】

- 展示会、イベントなどの交流の場で活用
 - ・プレゼンテーションでの活用（写真を取り入れた発表）
 - ・アプリケーションを活用したアンケートの実施（アンケートの効率化）
- 1人1台授業での活用
 - ・9月に向陽中学校で実施
数学の授業でタブレット端末を1人1台使用
公式理解の補助資料、問題演習数の増、授業への関心の向上
 - ・公式等を暗記するのではなく、体験し仕組みを理解し学ぶ

【今後の方針・予定】

- 周辺機器の整備による使用機会の増加
平成28年度にApple TV・専用ネットワークHDDを導入済み
 - ・使用環境の充実による使用者、使用機会の増加を目指す

10.東濃実業高校協働・連携事業

事業の概要

東濃実業高校とスイーツ店等で地域資源を生かしたスイーツの共同開発。また、地域交流拠点「御嶽宿わいわい館」でカフェの実習運営をし、これらの活動のP Rや活動記録を作成。

- ・ 舐五山茶やまいもん大福の開発
- ・ あずさカフェ実習運営
- ・ 都市圏でのP R活動

10. 東濃実業高校協働・連携事業

【事業効果・実績】

○スイーツの共同開発

- ・舩五山茶やまいもん大福を開発。

○活動記録

- ・舩五山茶やまいもん大福が完成するまでのヒストリーが掲載された活動記録パンフレットを作成。

【今後の方針・予定】

○新商品の開発、PR活動

- ・あずさカフェでの実習運営や各種イベント等で開発した商品のPR活動を継続する。

地域資源を活用した 観光誘客推進事業 【実施結果】

地域資源を活用した観光誘客推進事業

～「観光基本計画書の策定」「観光プロモーション」～

<現状と課題>

- ・中山道「御嶽宿」、国定公園「鬼岩」、歴史的建造物や文化財など可能性を秘めた観光資源がある。
- ・御嵩駅を起点とする中山道周辺では外国人観光客の来訪が増えつつある。
- ・八百津町の世界記憶遺産候補「杉原千畝・命のビザ」は、国内外から関心を集め来訪者が増えている。
- ・御嶽宿内には宿泊施設が無く、日帰りの観光客しか受け入れられない。
- ・空き家、空き店舗が増え続け、景観・活気を損ねる状況にある。
- ・各種データ等の収集・分析およびこれらに基づく戦略の策定、地域のマネジメント、ブランディング、プロモーション、人材・組織の育成が未整備である。



<具体的な事業>

- ① 観光戦略を実践するための『御嵩町観光基本計画』策定
- ② 国内外からの観光誘客を促進するための観光プロモーション事業
- ③ 既に地域間連携で実施している観光誘客イベント
特産品認定制度「みたけのええもん」のブラッシュアップ事業
- ④ 新たな観光資源の掘り起し
- ⑤ 個人客をターゲットとする着地型旅行商品の開発

<KPI>

町内観光消費額20%増、観光交流人口15%増、町民の観光振興に対する意識20%増

11.御嵩町観光基本計画書の策定事業

事業の概要：観光振興による町経済の活性化、町民の地域愛着心向上を図るための計画策定

手段：地域住民へのヒアリング、地域検討ワークショップの開催
市場動向調査、町の現状調査、専門家による指導

計画コンセプト「日本一、中山道に身を染められる宿場町」
キーワード「観光の産業化」「中間支援組織の設立」

目標設定（平成33年度）

- ・年間合計21,900人の滞在型顧客の増加
- ・市場3.8億円の増加
- ・空き家改修5軒 など

【事業効果】

- 町の観光振興に関する指針が完成。（3／24）
- ワークショップの開催や先進地（兵庫県篠山市）視察などにより、町民の歴史的観光資源に対する理解が深まった。
ワークショップを全3回開催
⇒（10／31・11／19・12／13）

【今後の方針】

- 中間支援組織（まちづくり会社）を核とした計画の推進
- 観光を軸とした、移住定住、雇用促進、外国語教育など幅広い連携の推進

12.観光プロモーション事業

事業の概要：①都市圏（名古屋市内、東京都）における町のPR。
観光だけでなく、移住定住や文化財などを含めた御
嵩町全体の魅力をパッケージ化して発信。
※東京都内及び名古屋市内にて展開を想定

②「20代、30代の女性」にターゲットを絞った観
光パンフレット作成ほか

【事業効果】

- 都市圏（東京都庁）における特産品販売の可能性を確認できた。（多くの商品が完売）

総売上額：395,645円

（東京都庁内にて2／9、2／10 2日間実施）

- ターゲットを絞ったパンフレット作成の効果を確認できた。（多くの掲載店舗より好評を頂いている。）

【今後の方針】

- 都市圏における特産品販売をパッケージ化し、定期的かつ収益を上げられる事業実施体制の構築に向けて検討。
- ターゲットに応じたパンフレット制作の継続、また英語版パンフレットの作成。（岐阜県立東濃高等学校との連携）